# JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書(附属書) 〈平成28年省エネルギー基準対応〉

自己適合宣言書番号		APS0001 附属書番号		APF0013-2			
発行者の名称		YKK AP株式会社					
作成日		2016年12月28日 改訂日		2019年4月1日			
商品	APW3	APW331(真空トリプルガラス)					
仕様	アンク	アングル付、アングル無(アングル付同等納まり)					
窓種	アングル付、アングル無(アングル付同等納まり) ・勝手ロドア 断熱腰パネル付						

## ■ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率区分・開口部の日射熱取得率区分

三のうべは多りにいいことが大き十四の こうじ						
			アルゴンガス入り (樹脂スペーサー仕様)			
				透明		
			P3QT	P4QT	P3QF	
ガラス構成		室外ガラス厚	3	4	3	
		中空層厚	13	12	13	
		室内ガラス厚	3/0.2/3	3/0.2/3	3/0.2/3	
熱貫流率 区分 日射熱 取得率 区分	真空 トリプル ガラス	日射取得型クリア	1	1	1	
		日射遮蔽型クリア	1	1	1	

熱貫流率、日射熱取得率(①)は開口部の熱貫流率・開口部の日射熱取得率 性能一覧を参照ください。

# ■閏□部の執言流率・開□部の日射熱取得率 性能一覧

三角口的心然其机平 用口的少口引然以下平 工								
樹脂スペーサー仕様								
区分記号	ガラス中央部の 熱貫流率 [W/m <sup>®</sup> K]		開口部の熱貫流率 [W/㎡K]		開口部	おおは	計算値	
			付属部材 無し	風除室あり	日射熱取得率	武씨	可异胆	
1	1.2	以下	1.45	1.27	0.05	0		

- ・本附属書は、対応する自己適合宣言書とあわせてご使用ください。
- ・記載内容は、製品の仕様変更等によって、予告なく修正する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 修正となった場合には、自己適合宣言書の更新によって公開いたしますので、常に最新の情報をご参照ください。

### ■開口部の熱貫流率について

- ・試験値は、JIS A 4710に基づく試験により測定された代表試験体の熱貫流率です。
- ・計算値は、JIS A 2102-1に基づいて一般社団法人 リビングアメニティ協会が運営するWindEye(開口部の熱性能評価プログラム)により
- 計算された代表試験体の熱貫流率です。
- ・代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」の 「窓、ドアの熱貫流率に関し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲に定める基準」に基づき 選定したものです。

### ■開口部の日射熱取得率について

・国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」に基づき 計算された日射熱取得率です。